

令和 6年度予算見積調書

課室名： 少子政策課
 担当名： 施設整備・環境指導担当
 内線： 3322 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
S246	放課後児童クラブ待機児童解消支援事業		一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策事業助成費	
事業期間	令和 6年度～	根拠法令	児童福祉法第6条の3② 子ども・子育て支援法第3条第2項及び第67条第2,3項		針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	4, 5
					分野施策	0402 子育て支援の充実	SDGsターゲット	4-1, 4-a, 5-5
1 事業概要			5 事業説明					
県内の放課後児童クラブ利用希望者全員の受入れ枠を確保し、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童が放課後及び小学校の休業日を安心して過ごすことができるようになるように支援する。 (1) 放課後居場所緊急対策事業 10,567千円 (2) 待機児童調査研究事業 2,000千円			(1) 事業内容 ア 放課後居場所緊急対策事業 10,567千円 待機児童解消までの緊急的措置として、児童館、塾、スポーツクラブ等の既存の社会資源を活用する。 イ 待機児童調査研究事業 2,000千円 より効果的な待機児童対策を検討するために、待機児童に係る詳細な調査研究を実施する。 (2) 事業計画 埼玉県子育て応援行動計画に基づき、待機児童の解消等に向けて放課後児童クラブへの支援を行う。 (3) 事業効果 県内の放課後児童クラブ利用希望者全員の受入れ枠を確保することで、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童が、放課後・学校休業日を安心して過ごすことができる。 【活動指標（アウトプット）】 ア 事業費を市町村に補助（20か所） イ 調査研究事業委託（1回） 【成果指標（アウトカム）】 県内の放課後児童クラブ利用希望者全員の受入れ枠を確保することで、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童が、放課後・学校休業日を安心して過ごすことができる					
2 事業主体及び負担区分								
(1) 国1/3(県1/3)市町村1/3								
(2) 県10/10								
3 地方財政措置の状況								
(区分) 社会福祉費（細目）児童福祉費（細節）子ども・子育て支援費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500×1.0人=9,500千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	12,567					12,567	12,567	
前年額	0					0		

事業内訳書

事業名	放課後児童クラブ待機児童解消支援事業	
単位事業名	放課後居場所緊急対策事業	予算額 10,567千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	10,567	10,567	
合計	10,567	10,567	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	10,567	10,567	放課後居場所緊急対策事業 20か所分
合計	10,567	10,567	

単位事業名	待機児童調査研究事業	予算額 2,000千円
-------	------------	-------------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	2,000	2,000	
合計	2,000	2,000	

単位事業名	待機児童調査研究事業	予算額	2,000千円
-------	------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	2,000	2,000	待機児童調査研究事業委託料
合計	2,000	2,000	